

科目名	美容実習(シャンプー・ヘッドスパ)			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	現場に必要な頭皮理論、ヘッド・スパ技法の習得、及びコンサルテーション能力向上を目指す							
授業の一般目標	頭皮理論とスパシャンプー、クレンジング、リフトアップメソッドの習得。不調の原因、解消法など応対話法の習得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	資生堂ヘッドスパテキスト							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回-2回	シャンプーを知る	シャンプー準備・シャワーの使い方・マッサージ理論						
第3回-4回	シャンプーを知る	シャンプー工程を覚える・効果的なマッサージトレーニング						
第5回-6回	頭皮ケア理論 グロースメソッド・テクニック①	デトックス(スカルプ) マッサージトレーニングを行う						
第7回-8回	テクニック②	リフトアップ(頭皮とリンパ) マッサージトレーニングを行う						
第9回-10回	テクニックまとめ	前回迄の技術を一連の流れで行う						
第11回-12回	理論・マッサージ技術検定	筆記、技術に関するチェックテストを受験する					資生堂ディプロマ取得	
第13回-14回	コンサルテーション理論	話法、傾聴スキルアップ、マイクロスコープ頭診断を行う						
第15回	コンサルテーション実習	コンサルテーションについて、実際に実習する						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	柳原 優志			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/yanagihara/			

科目名	美容実習(メイク)			単位数	2	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	1年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	JMA3級資格取得のためのベーシックメイク、を身に付ける							
授業の一般目標	JMA3級資格取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	授業の進め方・道具のチェック&手入れ法	授業を受ける際の注意事項・道具の点検と道具の手入れ方法						
第2回	道具の置き方・身だしなみ・ポイントメイクデモ	セッティングや身だしなみ、セルフメイクの仕方						
第3回	ポイントクレンジングデモ・相モデル練習	ウイッグを使ったポイントクレンジングの練習と相モデル練習						
第4回	全体クレンジングデモ・相モデル練習	ウイッグを使った全体クレンジングの練習と相モデル練習						
第5回	クレンジング復習・クレンジング相モデル練習	ウイッグを使った全体クレンジングの復習&相モデル練習						
第6回	化粧水デモ・化粧水相モデル練習	化粧水の相モデル練習						
第7回	ポイントメイククレンジング～化粧水相モデル練習	相モデルにてレッスン						
第8回	プライマーデモ・相モデル練習	プライマー相モデル練習						
第9回	ポイントクレンジング～プライマー相モデル練習	スキンケア総復習相モデル練習						
第10回	コントロールカラーデモ・相モデル練習	コントロールカラーのつけ方と相モデル練習						
第11回	スキンケア～コントロールカラー・ファンデデモ	スキンケア～コントロールカラー相モデル練習など						
第12回	ファンデーション相モデル練習	ファンデーションのつけ相モデル方練習						
第13回	スキンケア～ファンデ・コンシーラーデモ	スキンケア～ファンデ相モデル練習・カバーの仕方						
第14回	コンシーラー相モデル練習	それぞれに合ったコンシーラー相モデル練習						
第15回	スキンケア～コンシーラー・フェイスパウダーデモ	スキンケア～コンシーラー相モデル練習・パウダーの仕方						
第16回	フェイスパウダー相モデル練習	フェイスパウダーのつけ方相モデル練習						
第17回	スキンケア～フェイスパウダー	スキンケア～フェイスパウダー相モデル練習						
第18回	ハイライト・ローライト・ニュアンスデモ&練習	ハイライト・ローライト・ニュアンスの相モデル練習						
第19回	スキンケア～ベースメイク完成(3級模擬試験)	スキンケア～ベースメイクの模擬試験						
第20回	アイブロウデモ・アイブロウ相モデル練習	それぞれに合ったアイブロウの描き方相モデル練習						
第21回	スキンケア～アイブロウ・アイメイクデモ	スキンケア～アイブロウ相モデル練習・アイメイクの仕方						
第22回	アイメイク相モデル練習	それぞれに合ったアイメイクの相モデル練習						
第23回	スキンケア～アイメイク・リップデモ	スキンケア～アイメイク相モデル練習・リップのいれ方						
第24回	リップ相モデル練習	それぞれに合ったリップのつけ方練習						
第25回	スキンケア～リップ・チークデモ	スキンケア～リップ相モデル練習・チークのいれ方						
第26回	チーク相モデル練習	チークを入れてフルメイク完成相モデル練習						
第27回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2・3級検定対策						
第28回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2・3級検定対策						
第29回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2・3級検定対策						
第30回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2・3級検定対策						
成績評価方法								
単位認定 学内試験60点以上、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	福本 真弓			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/fukumoto/			

科目名	美容技術特論 I			単位数	4	科目コード		
授業形態	講義			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	後期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	期末試験・国家試験に向けて、カット技術の強化							
授業の一般目標	国家試験の準備、流れを体得する							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	衛生と技術の解説 理容師美容師試験研修センター 美容実習1 美容技術理論1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	第一課題 カット 概要を知る	シザースワーク・教材DVD鑑賞					テキスト・メモ	
第2回-3回	第一課題 カット ブロッキングを知る、全頭の手順を知る	ブロッキング手技デモンストレーション・実践、全頭カット手順デモンストレーション・実践14cmでカット					坊主ウィッグ	
第4回-9回	第一課題 カット ブロック各の手順を知る、	角度・長さ計測・パネル引き出し解説デモ、生え際2cmガイドカット→手技デモンストレーション実践第3、2、1セクションカット、EtoEブロック後頭部→前頭部カット					①14cmでカット	
第10回-11回	第一課題 カット 全頭を規定の長さで切る 第一課題 カット 改善点を踏まえて仕上げる	仕上がりで理解度の確認・手技の確認 個別指導で手技の確認・失敗例の紹介					①10cm規定でカット	
第12-19回	第一課題 カット 手順・角度・長さの確認	全頭仕上げる→個別確認→仕上げチェック方法を知る、長さの違いでの仕上がり確認 疑問点、勘違い箇所の改善・修正、規定10cmで一発切り→全頭の仕上がり確認						
第20回-21回	第一課題 カット エアカット 第一課題 カット 時間の意識・手を早める	手順・角度・シザースワーク・パネルの確認 30分全頭仕上げ→1パネル2シェーブの癖付け					⑤14cm	
第22回-23回	第一課題 カット エアカット 第一課題 カット 時間の意識・手を早める	手順・角度・シザースワーク・パネルの確認 30分全頭仕上げ→1パネル2シェーブの癖付け					⑤12cm	
第24回-25回	第一課題 カット エアカット 第一課題 カット 時間の意識・手を早める	手順・角度・シザースワーク・パネルの確認 30分全頭カット→仕上がりチェック・個別アドバイス					⑤10cm	
第26回-27回	第一課題 カット 手順・角度・長さの確認 第一課題 カット エアカット	注意点を踏まえて確認カット 手順・角度・シザースワーク・パネルの確認					⑤8cm	
第28回-29回	第一課題 カット 時間の意識・手を早める 第一課題 カット エアカット	30分全頭カット→仕上がりチェック 手順・角度・シザースワーク・パネルの確認					⑥14cm	
第30回-31回	第一課題 カット 時間の意識・手を早める 「衛生面」確認	30分全頭カット→仕上がりチェック 準備物・配置・注意点の確認					⑥12cm	
第32回-33回	第一課題 カット エアカット 第一課題 カット 時間の意識・手を早める	30分全頭カット→仕上がりチェック					11月1日第2課題発表 ⑥10cm	
第34回-35回	第一課題 カット 全頭再デモ 第一課題 カット チェックテスト	質疑応答→実践 【30分確認テスト】時間内に仕上げる手の使い方を覚える					⑧8cm 採点・評価 ⑦	
第36回	国試願書記入・受験案内の確認		準備物・配置・注意点の確認			受験案内		
第37-40回	第一課題 カット 準備・衛生面確認 第一課題 カット 全頭再デモ	顔面ふき取り作業の確認、25分全頭カット→仕上がりチェック 規定20分カットのデモンストレーション規定のスピードを知る						
第41-42回	第一課題 カット 準備・衛生面確認	規定20分カットを試してみる、顔面ふき取り作業・床シート上の髪の毛処理方法					⑧10cm	
第43回-44回	第一課題 カット チェックテスト 第一課題～第二課題 衛生面チェック	【25分確認テスト】時間内に仕上げる手の使い方を覚える 衛生面→第一課題→第二課題通して確認					⑨ ⑩国試準備・流れ確認	
第45回-46回	第一課題 カット 全頭再デモ 第一課題 カット 時間の意識・手を早める	15分カットのスピードを知る→手を早く動かす意識 20分全頭カット→仕上がりチェック					⑪	
第47回	第一課題～第二課題 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、全体を知る			⑫国試机上配置確認		
第48回-49回	第一課題 カット チェックテスト 第一課題 カット 時間の意識・手を早める	【20分確認テスト】国試合格レベルが見極める 手技・勘違いがないか確認・改善					採点・評価⑬ ⑭	
第50-54回	第一課題～第二課題 衛生面チェック		失敗しやすい箇所の確認、衛生面の注意事項確認、国試本番の流れを通して全体を知る 20分全頭カット→仕上がりチェック(国試本番の流れを通して全体を知る)			採点・評価⑮		
第55-56回	卒業認定試験(後期試験)		国試本番の緊張感を味わう・慣れる			職員・下級生見学⑮		
第57-60回	第一課題(20分)～第二課題(20分or25分) 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、本番を想定する			採点・評価⑯		
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					100	S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○					欠格条件
担当教員	柳原 優志			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/yanagihara/			

科目名	美容実習(ワインディングⅡ)			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	ワインディング (国家課題Ⅰ)							
授業の一般目標	1. 美容師国家試験合格レベル・コンクールレベルの知識習得 2. ロッド使用しパーマの形成を理解する 3. 人間性の醸成							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	衛生と技術の解説 理容師美容師試験研修センター 美容実習1 美容技術理論1 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べることができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	実力確認テスト (何分で仕上げられるか)	自己ベストタイムを確認する					タイム計測	
第2回	実力確認テスト (ブロッキングとロッドの配置)	正確なブロッキングが出来ているのか確認してもらう。ロッドの配置(パネルの方向性、ステム角度、号数)は正確かを確認してもらう					タイム計測無し	
第3回	難点部分の技術強化	姿勢・立ち位置、道具類の使い方を再確認し、意識しながら作業をする					タイム計測無し	
第4回		スライス線を、美しく・正確に取れているのかを再確認し、作業する						
第5回	実力確認テスト(20分で正確に)	難点部分を改善し、目標タイムに入る					タイム計測	
第6回		難点部分を改善しつつ、自己タイムを縮める						
第7回		難点部分を改善し、目標タイム(20分)に入る						
第8回		難点部分を改善しつつ、自己タイムを縮める						
第9回	美しい、コンクールを意識した作品完成	毛幅、面(つや)、ゴムのねじれ、バランス、つながり、おくれ毛を意識する					タイム計測	
第10回		目標タイムを設定し美しく、正確に仕上げる						
第11回		目標タイムを設定し美しく、正確に仕上げる						
第12回	実力確認テスト(20分で正確に美しく)	正確に美しく仕上げ、手直しタイム2分込みで、目標タイムに入る					タイム計測	
第13回	技術の定着	改善点を向上する技術を定着、タイム計測時も安定した技術を発揮する						
第14回								
第15回	実力確認テスト(20分で正確に美しく)	正確に美しく仕上げ、手直しタイム2分込みで、目標タイムに入る					タイム計測20分以内	
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○			◎		100	S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	柳原 優志			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/yanagihara/			

科目名	美容実習(カット応用)			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	wigを⑤台使用し、サロンカット～デザインカットまでを理解する→第14回、第15回には作品提出を行う							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	テキスト資料							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	wig①ロングスタイル	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ①・テキスト・定規	
第2回		カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ①・テキスト	
第3回		毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング					ウィッグ①・テキスト	
第4回		毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング					ウィッグ①・テキスト	
第5回	wig②ミディアムスタイル	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ②・テキスト・定規	
第6回		カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ②・テキスト	
第7回		毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング					ウィッグ②・テキスト	
第8回		毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング					ウィッグ②・テキスト	
第9回	wig③ショートスタイル	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ③・テキスト・定規	
第10回		カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ③・テキスト	
第11回		毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング					ウィッグ③・テキスト	
第12回		毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング					ウィッグ③・テキスト	
第13回	wig④作品作成	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ③・テキスト	
第14回		カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ④・テキスト	
第15回		履修内容を活かし自由に作品作成					ウィッグ④・テキスト	
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	柳原 優志			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/yanagihara/			

科目名	美容実習(パーマ応用)			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	デザインパーマを理解する→カットスタイルに合わせたパーマ技術を施術できる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	①～④のウィッグはカット応用で使用したもの ⑤のウィッグは新しいものを使用する							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	パーマ技術の応用知識を知る	パーマのバリエーション～薬剤選定・スタイルに合わせた技術						
第2回	wig①サロンワンレングスポブ	ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ①・テキスト	
第3回	wig①サロンワンレングスポブ	パーマをあてる・巻き方によっての仕上がり理解						
第4回	wig①ラウンドグラデーションポブ	ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ①・テキスト	
第5回	wig①ラウンドグラデーションポブ	パーマをあてる・巻き方によっての仕上がり理解						
第6回	wig②ミディアムレイヤーカット	ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ②・テキスト	
第7回	wig②ミディアムレイヤーカット	パーマをあてる・巻き方によっての仕上がり理解						
第8回	wig②セムレイヤーカット	ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ②・テキスト	
第9回	wig②セムレイヤーカット	パーマをあてる・巻き方によっての仕上がり理解						
第10回	wig③2セクションカット	ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ③・テキスト	
第11回	wig③2セクションカット	パーマをあてる・巻き方によっての仕上がり理解						
第12回	wig④マルチセクションカット	カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す						
第13回	wig④マルチセクションカット	カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す						
第14回	wig⑤作品作成	カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す					ウィッグ⑤・テキスト	
第15回	wig⑤作品作成	カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す					ウィッグ⑤・テキスト	
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	柳原 優志			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/vanagihara/			

科目名	美容実習(カラー応用)			単位数	1	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	必修			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	デザインカラーを理解する→カットスタイルに合わせたカラー技術を施術できる							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	①～④のウィッグはカット応用で使用したもの ⑤のウィッグは新しいものを使用する							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	カラー技術の応用知識を知る	カラーのバリエーション～薬剤選定・スタイルに合わせた技術						
第2回	wig①サロンワンレングスポブ	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ①・テキスト	
第3回	wig①サロンワンレングスポブ	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第4回	wig①ラウンドグラデーションポブ	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ①・テキスト	
第5回	wig①ラウンドグラデーションポブ	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第6回	wig②ミディアムレイヤーカット	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ②・テキスト	
第7回	wig②ミディアムレイヤーカット	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第8回	wig②セイルレイヤーカット	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ②・テキスト	
第9回	wig②セイルレイヤーカット	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第10回	wig③2セクションカット	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス					ウィッグ③・テキスト	
第11回	wig③2セクションカット	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定						
第12回	wig④マルチセクションカット	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す						
第13回	wig④マルチセクションカット	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す					ウィッグ⑤・テキスト	
第14回	wig⑤作品作成	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す						
第15回	wig⑤作品作成	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す					技法選定・施術	
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎							S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度			○					C(1):60点以上
発表・作品					◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	柳原 優志			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/vanagihara/			

科目名	ヘアデザイン専攻 I (専攻授業)		単位数	2	科目コード			
授業形態	実習		対象学生	1年生	開設期	半期		
区分	選択		開設時期	後期	教員実務経験対象	有		
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
授業の一般目標	IMAIメソッド(スパシャンプー、スパベシク)ディプロマ取得							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	IMAIメソッド参考プリントにて手技復習・相モデル練習							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題	授 業 内 容				備 考		
第1回	スパシャンプー	頭皮を傷めないシャンプー技法				IMAIメソッド シャンプーコース		
第2回	スパシャンプー	頭皮のクレンジングマッサージ				IMAIメソッド スパベシクコース		
第3回	スパシャンプー	フィッティング法を学び血液循環を促す						
第4回	スパベシク	呼吸に沿ったリズムへのマッサージ効果と肌に密着できるスキんシップ技術を学ぶ						
第5回	スパベシク	マッサージ効果のでる体幹、腕、手のひら、指の使い方						
第6回	スパベシク	頭皮診断基礎						
第7回	スパベシク	スカルブマッサージ技法(基礎)						
第8回	スパベシク	クレンジングの揉み出し技法						
第9回	スパベシク	緊張と緩和的技法						
第10回	スパベシク、ハンドマッサージ	ブラッシングの基礎						
第11回	スパベシク	振り返り(まとめ)						
第12回	スパベシク	ディプロマ試験						
第13回	ポリカ カット基礎	体幹トレーニング、姿勢、体の使い方					ポリカ教材使用	
第14回	ポリカ カット基礎	ポリカウイッグの仕組みを知りカットトレーニング						
第15回	ポリカ カット基礎	ポリカウイッグでベシクカットスタイル作成						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					100	S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	柳原 優志			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/yanagihara/			

科目名	ヘアデザイン専攻Ⅱ(専攻授業)			単位数	2	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	選択			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	・よりお客様からもニーズがあり、サロンで活用できるクオリティの高いカット技術の知技を身につける。 ・JHCAダブルスター検定試験合格を目標とする。							
授業の一般目標	カットのデザイン性・ホイルワーク技術、必要性を学ぶ。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	JHCAヘアカラー入門 改訂版							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主 題			授 業 内 容			備 考	
第16回	WIG① デザインカット			マッシュウルフ				
第17回	WIG① デザインカット			マッシュ				
第18回	WIG① デザインカット			ショートレイヤー				
第19回	WIG② デザインカット			フェードカット				
第20回	WIG② デザインカット			学んだ内容を取り入れたフリースタイル作成・発表・サロン様に評価していただく				
第21回	JHCAダブルスター検定 対策授業			ブロッキング・ホイルワーク				
第22回	JHCAダブルスター検定 対策授業			ブロッキング・ホイルワーク				
第23回	JHCAダブルスター検定 対策授業			ブロッキング・ホイルワーク				
第24回	JHCAダブルスター検定 対策授業			ブロッキング・ホイルワーク				
第25回	JHCAダブルスター検定 対策授業			ブロッキング・ホイルワーク				
第26回	JHCAダブルスター検定 対策授業			ブロッキング・ホイルワーク・タイム計測				
第27回	JHCAダブルスター検定 対策授業			ブロッキング・ホイルワーク・タイム計測				
第28回	JHCAダブルスター検定 対策授業			ブロッキング・ホイルワーク・タイム計測				
第29回	JHCAダブルスター検定 対策授業			ブロッキング・ホイルワーク・タイム計測				
第30回	JHCAダブルスター検定 対策授業			ブロッキング・ホイルワーク・タイム計測				
成績評価方法								
単位認定 作品作成60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験								S(4):90点以上
小テスト								A(3):80点以上
宿題授業外レポート								B(2):70点以上
授業態度								C(1):60点以上
発表・作品	◎	◎	◎	◎	◎		100	D:59点未満 未修得
演習								評価なし
出席			○					欠格条件
担当教員	柳原 優志			実務経験紹介	https://www.vic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/yanagihara/			

科目名	美容実習(サロンワークⅡ)			単位数	2	科目コード		
授業形態	実習			対象学生	2年生	開設期	半期	
区分	選択			開設時期	前期	教員実務経験対象	有	
授業概要 (目的、目標とする資格・検定等)	サロン実務演習							
授業の一般目標	お客様・先輩スタッフから信頼を持って頂ける人材になる。サロンフロア一業務の全てを把握し、広い視野を持って実践できる。							
受講条件	出席率80%以上が前提となる							
事前学習について (テキスト・参考書等)	ビジネスマナー 日本理容美容教育センター							
授業の到達目標								
<input type="checkbox"/> 知識・理解の観点	1. 学んだ事を説明できる。 2. 学んだ領域の概要と課題を説明できる。							
<input type="checkbox"/> 思考・判断の観点	授業で取り上げた各領域について自分の意見を論理的に述べる事ができる。							
<input type="checkbox"/> 関心・意欲の観点	美容に関する関心を広げ、問題意識を高めることができる。							
<input type="checkbox"/> 態度の観点	日常生活の中で美容について主体的に考えることができる。							
<input type="checkbox"/> 技能・表現の観点								
授業計画(全体)								
授業計画(授業単位)								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	正しい動作	挨拶の大切さ・意味、礼儀作法、ルールとマナー						
第2回		基本動作(立ち姿勢、歩き方、お辞儀など)						
第3回	社会人としての基本	学生と社会人の違い、コンプライアンス					アシスタント業務全般Ⅲ	
第4回		責任感・規律性・積極性・協調性						
第5回		サロンスタッフとしての身だしなみとファッション(美意識)						
第6回	ホスピタリティ	おもてなしとは、接客とは						
第7回	美容業の展望	美容師ができること・すべきこと					アシスタント業務全般Ⅲ	
第8回		美容師ができること・すべきこと						
第9回	職場の人間関係	チームワークとコミュニケーション					アシスタント業務全般Ⅲ	
第10回		上司や先輩との話の仕方、話の聞き方						
第11回		気配り・心配り、個性の尊重、自分の役割						
第12回	サロンワーク	技術上達のためにすべきこと					アシスタント業務全般Ⅲ	
第13回		技術上達のためにすべきこと						
第14回		技術上達のためにすべきこと						
第15回	前期授業の振り返り	社会人としての職業意識の振り返り・今後の目標						
第16回	接客の基本	接遇について						
第17回	敬語	言葉づかい・接客用語・お客様との会話						
第18回	電話対応	電話の受け方・かけ方						
第19回	サロンでの1日	掃除～身支度～朝礼～予約のお客様の受け入れ準備						
第20回		終礼～お客様情報の共有～次回来店までのアプローチ						
第21回	伝わるDM・POP	DMの書き方・効果的なPOPの作り方						
第22回		DMの書き方・効果的なPOPの作り方						
第23回		トレンドを理解する(情報収集)						
第24回	スタッフとしての立ち居振る舞い	カルテを記入いただきプレカウンセリング～ヒヤリング～提案						
第25回		担当への報告、連絡、相談～セット面への誘導～言葉掛け～クロス掛け						
第26回		技術準備～技術ヘルプ						
第27回		印象の良い自己紹介～キャンペーン告知						
第28回		店販品の促進						
第29回	自己研鑽による成長	コンテスト・セミナーへの参加						
第30回	後期授業の振り返り	自己評価と今後の目標						
成績評価方法								
単位認定 総合成績60点、出席率80%以上								
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合	成績評価基準
定期試験	◎	○					50	S(4):90点以上
小テスト	◎	○	◎				30	A(3):80点以上
宿題授業外レポート		◎	○	◎			10	B(2):70点以上
授業態度			○				10	C(1):60点以上
発表・作品							評価なし	D:59点未満 未修得
演習							評価なし	
出席			○				欠格条件	
担当教員	柳原 優志			実務経験紹介	https://www.yic-kyoto-beauty.ac.jp/voice/yanagihara/			